

第4回 雄武町図書館を考える会会議 ワークショップ結果報告

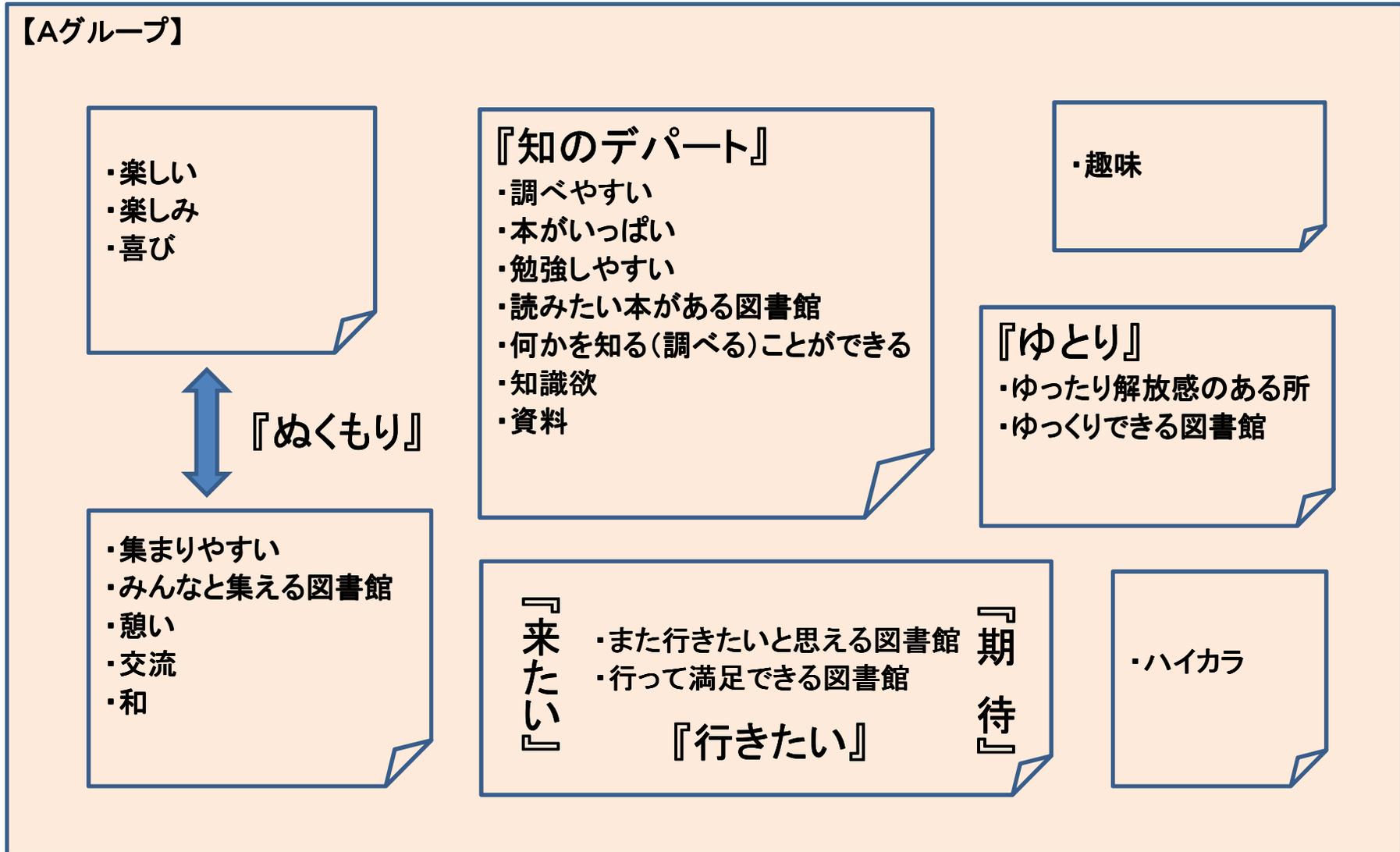
テーマ① 「私のつくる図書館」

テーマ② 「どんな図書館をつくりませんか？」



第4回 雄武町図書館を考える会会議 ワークショップまとめ

テーマ① 「私のつくる図書館」



【Bグループ】

- ・空間のあるゆっくりできる、自分の欲しいものが手を差しのべられる本の高さであってほしい
- ・親しい人々が集まりやすい
- ・気軽に集える場所
- ・利用しやすい図書館(場所的に)
- ・複合施設を含め、行ったり来たりできる場所



『行ってみたい！』
『こういう場所で
読書がしたい』

『情報発信』

- ・地域の交流の場
- ・気軽に相談できる



『情報交換が期待でる』



『図書館ばかり
でない、複合文
化拠点として考
える』

『知識を知る場所』

- ・楽しい学習の場
- ・幼児、子どもから高校生、社会人そして多くの住民が参加できる
- ・高齢者の人が本に親しめ、遊べる施設がほしい

『文化の拠点』

- ・町の歴史を知る場所
- ・月に何回か色々なイベントをやり、少しでも町の人が足を運べる、また、行きたいという意識が持てる場所



『オホーツクのオアシス』

【Cグループ】

『文化・情報の発信基地』

- ・世界が広がる
- ・文化を感じるところ
- ・情報の発信地
- ・新たな発見がある
- ・時間を忘れるところ
- ・講演会とか朗読会とかにリンクする図書館

『雰囲気』

- ・明るく開放的
- ・明るいところ
- ・きれいなところ
- ・落ち着くところ
- ・気持ちが落ち着く
- ・中村好文さんのようなデザイナーに設計してもらった図書館
- ・町のシンボル
- ・余裕のあるところ

- ・コミュニティの拠点
- ・子どもの集まる図書館
- ・家族で行きたいところ
- ・子どもに行かせたいところ
- ・愛着のある図書館
- ・使う人がハッピーになる図書館

・誰かいる



『行きたいところ』

『機能』

- ・アロマとか焚いている図書館
- ・多くの絵本がある図書館
- ・便利(使いやすい)

テーマ② 「どんな図書館をつくれますか？」

【Aグループ】

『快適』

- ・空調がある
- ・きれいな空調
- ・エアコンのある図書館
- ・冷暖房がほしい

『解放感』

- ・大きな窓
- ・広々とした空間
- ・高い天井
- ・明るい照明

『多機能』

- ・お話部屋
- ・赤ちゃん部屋
- ・ゲーム部屋
- ・お茶も飲める
- ・閲覧室、集会室などがある
- ・交流できる部屋
- ・静かな部屋
- ・読み聞かせコーナー
- ・1人の空間

『防災』

- ・安心できる場所にある図書館

『安心』

- ・ロードヒーティング
- ・駐車場も大丈夫
- ・駐車場が広い図書館

『便利』

- ・本棚は低く
- ・館内見取り図
- ・返却BOXコーナーを大きく
- ・見やすい書架
- ・書庫を広々

『専門』

- ・専門知識のある司書
- ・調べたい(借りたい)本もすぐわかる

『サービス』

- ・トピックスコーナー設置
- ・ポップによる本のPR、紹介
- ・映画(DVD)鑑賞会
- ・読書会、句会、講演会

【Bグループ】

『全町民の利用施設』

- ・施設は、子どもから高齢者まで、すべての人達が入ってみたいと思える魅力あるもの
- ・老若男女に焦点を合わせた施設

『リピーター増を 定着させる対応』

～ 懐(受入)の大きさ、愛情、和 ～

- ・職員の資質(笑顔、優しい言葉)
- ・規則に縛られない対応が大切
- ・図書館の運営にあたり、担当者の他にボランティアの方々を含めて協力しあいたい

『機能の多様化』

- ・図書館とは、その目的を果たすための施設である
- ・図書館を主軸に、歴史の資料館、地元の特産を活かした軽食あるいは喫茶店などがあり、何回でも足を運びたいような施設であってほしい
- ・イベントを通し、絵本の読み聞かせ、紙芝居、昔の遊びを伝える
- ・国や道立図書館から借本を行うことも必要である(経費の削減)
- ・図書館の周りの花壇づくり(花で埋めつくす)
- ・文化的行事ができる環境施設
- ・図書機能の他に、複合的な、文化的な利用を求める
- ・利用者が納得することを目的とする

『施設の顔づくり』

- ・カウンターは高さに段をつける(子ども用、大人用)
- ・談話室、学習室(パソコン、インターネット)
- ・トイレには細やかな配慮
- ・玄関は広く、明るいスペースに
- ・所持品(かばんやコート等)整理棚
- ・全体的に低く陳列され、それぞれの目線の配置を考えてほしい
- ・本を通しお話ができる席、場所をつくってほしい
- ・基本部分の機能(ソフト面)を定めて、施設(ハード面)を考える
- ・行ってみたいと思われる図書館の顔づくりを強化する(複合文化拠点)

【Cグループ】

『付属施設』

- ・子どものスペースと、大人のスペースの棲み分け
- ・学習室が別室になっている
- ・児童センターの直近にあり、子どもが気軽に利用できる
- ・個人ブースがあり、語学の勉強ができる
- ・会議室
- ・郷土資料室がある

『建 物』

- ・空調設備(冷暖房)
- ・自然と調和している建物がいい
- ・バリアフリー(高齢者、障がい者向け)
- ・駐車スペースが広い
- ・中央図書館と分館

『イベント』

- ・文化活動告知の掲示板
- ・イベント開催(講演、音楽 etc)
- ・講演会、サークル、イベント等の情報を発信する(主催も含む)

『AV・視聴覚』

- ・本だけではなく、CD、DVD等の視聴覚が充実している
- ・視聴覚設備の充実(旅のDVDとか)
- ・CD、DVDも置いて(AVサロンの)

『スペース・什器』

- ・閲覧スペースを広く
- ・書架の間が広い
- ・座りやすいソファがある
- ・あちこちに腰掛ける場所がある
- ・落ち着いて読書ができる

『情報発信・サービス』

- ・新刊図書お知らせのメール配信
- ・新聞、雑誌類の充実
- ・本の置き場所が分かる検索システム
- ・司書さんの増員